

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、11～18℃台を示し、やや高め～かなり高めの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――月夜間とシケのため出漁日数が少なかった。西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり4トンの水揚げで、前週の57%（前年を上回った）。五島奈留地区では、マアジが1日1統当たり0.2トンの水揚げで、前週の10%（前年を下回った）。北松南部地区では、マアジなどが1日1統当たり1.5トンの水揚げで、前週の1.9倍（前年を上回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり76kgの水揚げで、前週の69%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり1.8トンの水揚げで、前週の29%（前年を下回った）。
- 定置網――五島有川地区では、マアジなどが1日1統当たり1.86kgの水揚げ。五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり101kgの水揚げ。北松生月地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり1.2トンの水揚げ。対馬西岸地区では、アオリイカなどが1日1統当たり9kgの水揚げ。対馬東岸地区では、スルメイカなどが1日1統当たり253kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサなどが1日当たり153kgの水揚げで、前週の42%（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（2/5～2/7の3日間）沖合イカ釣り船、船凍船は隠岐諸島西海区及び太平洋赤イカ海区出漁。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐諸島周辺海区に出漁。

鳥取県西部（沖合船）2日延13隻、総計248箱、1航海最高84箱、平均19.1箱。

スルメイカを中心に漁獲、魚体は20～30入り主体。今期は隠岐周辺海区で漁獲が減少し壱岐・対馬～山口沖が主漁場となった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第2-5号 長崎県周辺海域の海面水温（2月号）」を長崎県庁ホームページに掲載しています。

長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」から漁海況週報や漁海況通信をご覧ください。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>